

日本WHO協会 第18回関西グローバルヘルス(KGH)の集い

オンラインセミナー第4弾
COVID-19

そのとき、現場は動いた！

第2回
行政・保健所編

【話題提供】

高山 義浩 氏 (沖縄県立中部病院 医師)

渡邊 洋子 氏 (東京都八王子市保健所 所長)

【コメンテーター】

勝井 由美 氏 (日本WHO協会 看護師)

【ファシリテーター】

安田 直史 氏 (近畿大学社会連携推進センター)

● ミニ・パネルディスカッション

日時: 2021年11月10日(水) 19:00~20:30

※1週間の見逃し配信あり！(見逃し配信にも参加登録が必要です)

多くの日本人にとって、これまで感染症対策といえば、感染した患者さんに対する感染症「治療」しか頭に浮かばなかったのではないのでしょうか。しかしCOVID-19は、感染症「対策」というのはもっと幅広いものであり、教育啓発、マスク、手洗い、行動制限などの公衆衛生対策を基礎に、検査、検疫、隔離、追跡調査(積極的疫学調査)、モニタリング(感染者数の消長)、ワクチン接種、治療など多岐にわたることを、日々の報道を通じて教えてくれました。そしてその背景で、行政が担う重要な役割、そして保健所の役割と存在感。それらが今ほど注目されたことがあったのでしょうか？

今回のシリーズでは日本のCOVID-19対応の現場力に注目し、第1回では病院・クリニックの現場の話をお聞きしました。第2回目は、行政・保健所の活躍や課題について、素晴らしいゲストを迎えて議論します！

参加方法

右記QRコードまたは<https://forms.gle/MM8GjBt4TWXEkOTW7>から、お申込み下さい。後日YouTubeのリンクをメールでお送りします。

お問い合わせ 関西グローバルヘルスの集い運営委員会

kansai.gh.tsudoi@gmail.com (メールでお問い合わせ下さい)

